

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月11日

協議会名： 見附市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|--|---|------------------------------|--|---|
| 越後交通(株)   | コミュニティバス<br>(名木野～今町5丁目経由)<br>コミュニティバス車庫～名木野<br>～今町5丁目～パティオにいがた | 平成30年1月の大雪時には、市内に発着点を設けたことで、運休することなく、運行の安定化に努めることができた。4月1日からのダイヤ改正にはJR信越本線見附駅へのアクセスをより改善することで、バスの発着時刻を通勤・通学時間帯に合わせ、利用者に対する利便性の向上を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | C<br>コミュニティバス<br>目標利用者数:190,000人以上<br>(実績値:173,677人)<br><br>動態調査を分析し、利便性の高いダイヤ編成に努めたことで、前年比11.9%増(18,534人増加)となった。しかし、全国的な運転手不足の為、運行事業者による車両配備が困難となり、計画通りの増車が行えなかった。この影響により、運行本数を増やすことが出来ず、目標利用者数を達成できなかった。 | 平成30年度の動態調査を分析し、利用者の実態に合わせたダイヤ改正を実施するとともに、ルートを再編し、効率的な運行内容の構築に努める。利用者が使いやすい停留所環境を整備し、バス利用の周知を行うことで、日常生活における移動手段としてバスの利用を促す。 |
| 越後交通(株)   | コミュニティバス<br>(緑町～上新田町経由)<br>コミュニティバス車庫～緑町～<br>上新田町～パティオにいがた     | ダイヤ改正時には時刻表の全戸配布、沿線企業への案内を行い、周知に努めるとともに、市の広報においてバス利用の特集記事を掲載した。   |                              |  |   |
|           |  |   |                              |  |   |
|           |  |   |                              |  |   |
|           |  |   |                              |  |   |